



11月号

てくてく公園情報

日進市内の、親子でちょっとお出かけできる公園・広場・遊び場を詳しく紹介しています。

第7回目 レトロでんしゃ館

(名古屋市 市電・地下鉄保存館)

名古屋市交通局が管理するこちらの施設は、三種の市電車両と貨車といわれた地下鉄が展示されており、実際に車内に入って見学することができます。

まず、車を降りて目に入ったのが駐車場の隅に置かれた大きな円をした工場の道具。説明によると地下鉄工事の際にトンネルを掘るための掘削機用シャフトの一部分だそうです。建物の中に入ると、私が通学時に利用した貨車が当時の姿のまま保存されていて、懐かしく温かい気持ちになりました。我が子たちは、電車未経験ですが、楽しそうに座席に座って「ガタン ガタン」と揺られて乗る練習をしてみました。

その他にも、地下鉄路線の運転ゲーム「列車運転シミュレータ」、市電・地下鉄の歴史を学んだり資料検索できる「プレーコーナ」、模型電車を運転できる「シヨラマコーナー」運転車の帽子をかぶっての写真撮影もでき、大人も子どもも楽しんで楽しめる施設です。(今村)

住所 浅田町四原 30 開館時間 10:00~16:00
休館日 水曜日 入館料 無料
電話 052-807-7587
アドレス <http://www.kotsu.city.nagoya.jp/>
その他 ペーパークー(段差有り)、トイレ(ペット、オムツ換えシート)有り

中島公園

赤池駅に近く、赤池公民館隣りに位置し、平成20年春には小学校開校予定の地区にあります。園内は、湧り台・鉄棒・ブランコ等がある自由広場と、砂場・動物の糞物がある幼児広場とが園路で区別されており、年齢に応じた遊びができます。ブランコはイスがカゴ型になっているので、しっかり座れないうちの子でも安心して乗れました。ようやく、外遊びの季節がやってきました。寒くなる前にたっぷり自然に遊んでください。(今村)

住所 赤池一丁目
駐車場 なし
くるりんぱず園舎 南コース「赤池西」
その他 ペーパークー、トイレ、水道・ベンチ有り

おすすめ絵本 これよんで

あおくと きいろちゃん
「あおくと きいろちゃん」
あおくと、きいろちゃんという、「色」が主人公のお話。二人と一緒に遊んでいると、あら不思議、違う色になってしまいます。とても楽しく遊んだのですが、家に帰ってみると、ばばとままが「うちのあおくんじやないよ」「うちのきいろちゃんじやないよ」といいます。あおくときいろちゃんは、悲しくなって泣いてしまいました。さて、ふたりは、どうやってばばとままにわかってもらおうか。
「色」が、家族やとだちになっても登場しますが、色の混ざり具合がとても自然な絵本です。(高野)

著者 小原 正 絵者 山本 浩二 発行 2006年

子育てサークル紹介

「軽度発達障がい児親の会」

月1回の例会と年2回の交流会を行い、軽度発達障害についての情報提供や啓発活動、ピアカウンセリング(同じ立場の人同士が話し合うこと)をしています。

「軽度発達障害」には、主に高機能広汎性発達障害(アスペルガー症候群・高機能自閉症)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)などがあり、知的には標準またはそれ以上ですが、社会性・学習面・注意集中面などに特有の症状がみられます。「しつこく環境が原因ではないか」という誤解から親が苦しめられたり、外見からは障害があると分りにくいために、本人がかかえている「生きにくさ」が周囲に伝わらず、適切な支援が得られにくいことが軽度発達障害における重要な課題です。

軽度発達障害に対する正しい理解と対応を広めていくことで、これらの問題が軽減され、子ども自身がその子らしく安心して生活できるように支援することを目的として活動をしています。(軽度発達障がい児親の会)

日時 毎月 第3水曜 10:00~12:00 (変更の場合あり)
場所 相野山小学校 学習文化室
参加費 100円
ブログ <http://keidohattatu.atweby.info/>
問合せ 0561-73 5679 (T/F) 幸村 Eメール keidohattatu@yahoo.co.jp

「さくらんぼ(南が丘)」

就園前の子とおかあさんが集まって、外遊びや、季節に沿った室内遊びや工作などを楽しんでいます。お誕生日は毎月行っています。また、通年や運動会、クリスマス会など、各種イベントも開催しています。子ども同士、おかあさん同士の友誼の輪も広がり、情報交換も盛んです。見守りもできず、気軽に参加していただく。 (さくらんぼ)

日時 毎週金曜 10:00~12:00 春寒冬休み、祝日は休み
場所 南が丘会館
活動費 年費 500円 月会費 500円
対象年齢 1歳半~就園前まで
問合せ にっしん子育て総合支援センター 0561-75-2244

日進市内子どもに関する病院

このコーナーでは、日進市内で子育て世代がよく利用する小児科のみの病院、専門科の病院・医院を、順にご紹介していきます。

ともまつレディスクリニック (婦人科)

住所 日進市栄2-1202
電話 0561-75-4755 (T/F)
駐車場 16台
最寄駅 名鉄東山線「日進」
バス停 くるりんぱず「日進駅」
名称バス「日進駅」
休診日 日曜・祝・木曜午後・土曜午後
HP <http://www.5oon.ne.jp/toms-la/>

分娩施設が無い婦人科ってどんなところか興味津々で伺ってまいりました。日進駅近くのマンション1Fにあります。ついに行きそびれたら産婦人科ですが、一歩医院の中に入るに待合室の照明がおとされ、人目に対する配慮がされていたり、医師も相談しやすい真冬さな方で、買い物途中にも立ち寄りやすくなる雰囲気でした。

反松医師は「女性の総合クリニックとして、気になることすべて相談を受けています。」とのこと。例えば何科に行けばいいかわからないという方や、複数の症状がある方なども受け入れていただけます。6年前日進に開業された分、待ち時間を縮小して広く多くの相談に応じる窓口にしたというの思いから、分娩施設は開くされずです。

仕事、結婚、出産、子育てなど生活が日々変化する時期には、忙しさの中で自分の健康をおさげになりがちです。そんな年々のみなさんへのアドバイスを伺ってみたい。「まず年1回は検診を受けることをおすすめします。早い日進市の助成で、9月~11月に医療機関で行う個別子宮がん検診(20歳以上、自己負担1900円)と乳がん検診(30歳以上 自己負担2000円)が行われています。来院の際、気づいていることも気軽に相談していただきたいと思います。」「これって異常なの?」「生理痛がひどくて...」「など誰にも書けない女性特有の疑問や悩み、些細なことでもすべてプロとして真摯に受け止めてくださる心のケアもしていただけます。婦人科疾患の予防、治療に加え生活の変化からくる体の内面、外面に与るまで様々な悩みをサポートしていただけます。心と身体の健康のために頼れる身近な存在となっていたらいいと思います。望んで出産を予定されている方は、ゆくり相談ができる当院で定期的に検診を利用されてはいかがですか。

医師がおっしゃるには「50代~80代は「更年期」」。ここは、幸せに老いるための情報がいっぱい詰まっている場所のようです。あなたの欲しい情報をきいていただけること間違いなし!多悩んでいる方、是非一度訪れてみてはいかがですか? (勉)

パパコラム

僕が父親になるまで 連載 最終回 「父親になること」

僕は、自分があーたんの父親だということを実感するのは時間がかかった。今でこそ多少育児には参加しているけれど、真事をするにしても、お風呂に入れる、おむつ換えをする、おむつを洗う等々、どれもやってもらって毎日できている訳じゃない。「父親」としてする育児には、形があるわけではないと思う。多分、貴さんと育児について話し合ったり、子どもと時間を作って遊んであげたりするだけでも立派な育児だと思う。重要なのは、子どもが必要とすることを必要とするタイミングであげられることなんじゃないだろうか?

子どもが悪いことをしたら叱ることだ。自分の働いている姿を見せたり、「父親」しか出来ないことって色々あると思う。

あーたんが、何かして欲しいサインを僕が受け取れるようになったら、それは僕が父親になったということなんじゃないかな?だから、本当の父親になれるのはまだまだ先で、今はその準備期間なのである。(リッパさん)



「日進市役所 生涯支援部 児童課」ってどんな所?

今回は、ふあまっぶの発行元である、児童課を訪問しました。児童課には3つの係があり、それぞれ担当内容は次のとおりです。

- ①保育係・・・保育園・幼稚園に関すること
- ②家庭相談係・・・子育てに関する相談に応じたり、必要な対応をしたりすること
- ③子育て支援係・・・母子家庭や障害児に関すること、児童手当、学習クラブ、子育て支援金給

まず「家庭相談係」に所属する家庭相談員をお話を伺いました。「家庭相談員は3名いて、昨年度は1710件の案件に対応しました。直通電話が0561-73-1402、月~金8:30~17:15、子育てに関するどんな相談でも、無料で利用できます。保健センターや保育園・児童館などからの紹介で対応する場合もあります。悩みを誰かにちょっと聞いてもらえただけで、子育てがうんと楽になることもあるので、気軽に利用してくださいね」とのこと。市役所の相談係ということ、お堅いイメージがあるかもしれませんが、どっとも笑顔が溢れるし、リラックしてお話していただけます。相談室にはおもちゃも用意され、子連れで来所しても大丈夫。最近は、保護者が子育てでの悩みを誰にも相談できないママも多く、発散できないストレスが、虐待などの悲劇に向かってしまうこともあると聞いています。そうなる前に、こういった専門の方に気軽に相談できるといいですね。

次に児童課係の方にお話を伺いました。「日進市は、新しい住宅地の開発に伴って、子どもの数が急激に増えています。そのため、市民の要望として、保育園の新設や、子育て支援活動の拡充というものが多くなります。しかし、少子化の波はいつしか日進市にも確実にやってくる。限りある財源(税金)をより効果的に使つためには、さらに市施設を増やすのではなく、既存施設の有効活用がカギ。私立幼稚園での延長保育の時間枠拡大や、3歳未満児保育などの仕組み作りにも取り組んでいます。子育て支援活動に関しては、市が全てを実施するのではなく、現時点でしっかり機能している民間の活動や、補助金交付などの形でサポート。役所はその成果を確証し、公平で効果的な補助金の配分を担当することが責務と考えています。」少し長いお話しになりましたが、今回の訪問で、児童課の仕事内容が少しわかりました。また、市民として役所に期待するばかりでなく、主体的に活動することの大切さを再認識しました。(大河内)

編集会議生中継

- 先日、編集メンバーと「和伊梨」(香久山)にてお食事会をしました。子ども向けメニューもあり、お昼あまり食べないうちの子どもも楽しめたのでお礼するようバロリと食べていました。ちなみにママは年中「食欲の秋」です。(今村)
- O157が今年も流行しているそうです。手が洗えるようにペロリと手洗いを、まだ履いたお子さんには消毒用アルコールで手指の消毒を。(まつ)
- インフルエンザ予防接種が開始。感染しても重症化を防げるし、毎年接種して免疫を蓄積していくことが大切そう。風邪をひきやすい真冬になってから打つのは難しいので、お早目に「周りの大人も是非受けてね」。(大河内)
- 先月8日、愛知動物病院のNGO「アジア保護研究所」にてオープンハウスというアジアの限りの実行委員をやりました。今回は院内に投票箱を設けることになり、子育て支援は畜産と地域に結びついていること。(川原)
- 先日、東原さんの「胎そりエッセイ」に行ってみました。名前から想像するに、胎の産毛を刺すという程度かな...と思っていたら、何と毛肉の傷れぬようにレーザーも使われてきました。胎毛を子想うのもなかなかリクエストが、お肌ふりぶって、次回もやってもらおうと。(勉)
- 突然の胎毛販売や、「お子さん。」というアンケート、「うちがやっつこうです」と断ったけど、(勉)もい/な/は。みなさんはこんなときどうしてますか? (ゆき)
- 11/15日、子どもの成長を祝い贈り物行事の七五三です。宮崎にて千歳輪買って記念写真も撮るのかな? (勉)
- P11のお話は自然がいっぱい。10日には金木曜がいい雪りを振りまいて楽ませてくれました。(古畑)

にっしん子育てナビ「ふあまっぶ」

【発行】日進市生涯支援部児童課 日進市蟹甲町池下268
TEL 0561-73-1049 FAX 0561-72-4554
【編集】NPO法人ファミリーステーション Rin 日進市岩崎町陸奥63
TEL-FAX 0561-66-1150 e-mail rinn@npo-rinn.net

- ◆発行部数 月間2000部 毎月月初め発行
- ◆ふあまっぶは、市内公共施設、ご協力いただける民間施設にて無料配布しています。